

県指定 天然記念物

蒲江カズラ



マメ科のトビカズラ属に入り、蒲江葛原浦の特産種である。昭和23年3月10日、故清原善太郎氏によって発見されたもので、地元では馬の飼料とするところからウマカズラとも呼ばれている。近年までは、アイラトビカズラと同一種とみなされていたが、昭和39年の真柴・荒尾氏の調査結果から、国立博物館の大井次三郎博士はイルカンダに近いと判定し、カマエカズラと命名、日本植物誌に発表された特異なものである。